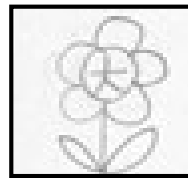


交流センターだより

おおとし



題名：かわいい大とし小学校

作者：なかはら ののはさん

No.159
令和4年
6月号

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 14,028 世帯数 6,840
開館時間 8時30分～17時15分（行政窓口 TEL 922-2461）（令和4年5月1日現在）

分館対抗卓球大会を開催します！

大歳地区卓球大会を大歳小学校体育館で開催します。
個人の部は当日の飛び入り参加もできます。奮ってご参加ください！

※個人の部は、分館対抗の部の閉会式終了後に開始します。
※大会当日はスリッパを持参してください。

<日時> 6月26日（日）午前8時30分集合

<場所> 大歳小学校体育館

<主催> 大歳体育振興会

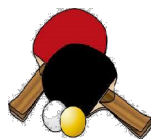
<主管> 大歳卓友会

<問い合わせ> 大歳体育振興会事務局

（大歳地域交流センター内）

（083-922-4035）

※回覧がまわっておりますので、申込みの際は、各分館長・体育委員まで御連絡ください。（6月17日（金）事務局申込期限）



太陽クラブから「写真の撮り方講座」のお知らせ

ママカメラマンによるスマホでの写真の撮り方講座です。撮り方のポイントを教えてもらい、我が子をかっこよく撮りませんか？！

写真1枚（データ）プレゼントあり♡

<日時> 6月24日（金）10時00分～

<場所> 大歳地域交流センター 和室

<参加費> 100円

<持ち物> スマホ、飲み物

<募集人数> 未就園児の親子10組程度

<申し込み期間> 6月3日（金）10時00分～
6月9日（木）

<申し込み先> 竹中（090-7136-8305）



きららシニア大歳からのお知らせ ～「カラーリング体験」してみませんか！～

カラーリングはルールが簡単で、子どもから大人まで、誰もが気軽に、安全に、楽しくプレーできるスポーツです。「きららシニア大歳」では、カラーリングを通じて地域の仲間づくりを進めるため、第1回体験会を開催します。ご家族や友だちなど、お誘い合わせの上、気軽にご参加ください。もちろんお一人でもOKです。

<日時> 6月4日（土）13時30分～15時00分

<場所> 大歳地域交流センター 講堂

<参加費> 無料

<服装> 軽い運動のできる服装

<問い合わせ先> 大窪（080-2904-8193）

※どなたでも参加できますよ。申し込み不要です。



みんなのひろばから「防災講座」のお知らせ

防災講座「身近でできる防災対策」を開催します。平常時の準備や緊急時の対応など、みんなで災害への備えについて学びましょう！

<日時> 6月18日（土）13時30分～15時00分

<場所> 大歳地域交流センター 講堂

<参加費> 100円

<講師> 山口市防災士 多田和子氏

<問い合わせ先> 大窪（080-2904-8193）

※どなたでも参加できますよ。申し込み不要です。



山口市保健センターから「肺がん（結核）検診」のお知らせ

がんの早期発見に向け、集団検診を実施します。早期のがんは自覚症状がないことが多いため、定期的な検診受診が必要です。40歳以上で、職場等で検診・人間ドック等を受ける機会のない方はぜひ受診しましょう。受診の際は必ず、がん検診等受診券（5月下旬発送）をご持参ください。

肺がん（結核）検診

■場所：大歳地域交流センター 2階 会議室①

■日時：令和4年7月7日（木） 9時00分～15時00分（12時00分～13時00分は除く）
※例年9時00分～10時00分頃までは大変混雑するため、10時00分以降または午後からの受診がお勧めです。

※3つの密を避けるため、受診日及び受付時間の分散にご協力をお願いします。

■負担金：なし

■予約：不要

かくたん
喀痰検査（肺がん検診と同時に受診できます。）

■対象：肺がん検診受診者のうち、50歳以上で喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上の方

■負担金：600円（70歳以上の方、「後期高齢者医療被保険者証」を提示された65～69歳の方、70歳未満で市民税非課税世帯の方（要事前申請）は自己負担金が500円です。）



感染症対策として、以下のことにご協力をお願いします。

- ①37.5℃以上の発熱や咳等の風邪症状がみられるときは、受診を控えましょう。
 - ②検診当日はマスクの着用をお願いします。
 - ③受診者同士の接触時間を短縮するため、がん検診等受診券の5ページ「肺がん（結核）検診問診票」をご記入の上、持参してください。
- ※今後の感染拡大状況等により、延期または中止となる場合があります。

【問い合わせ】山口市保健センター 083-921-2666



【大歳地区6月の行事予定】

2日（木）燃やせないごみの日
3日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）
4日（土）きららシニア大歳（13:30～15:00）
8日（水）母子相談
13日（月）金属・小型家電製品ごみの日
15日（水）びん・缶ごみの日
17日（金）パソコン相談（受付 10:00～10:30）
17日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）



18日（土）みんなのひろば（13:30～15:00）
23日（木）古紙ペットボトル分別収集（大歳①）
24日（金）子育て支援サークル 太陽クラブ（10:00～）
26日（日）分館対抗卓球大会
30日（木）古紙ペットボトル分別収集（大歳②）

※木曜日はプラ容器包装分別収集





令和4年度

第2回

山口市家庭教育講座

**参加
無料**

受講生募集！

目まぐるしく変わる今の社会情勢において、未来を担う子どもたちに「生きる力」を育ませることは大切なことです。しかし、普段の家庭教育の中でどのようなことをしていけばいいのか疑問に思ったり、不安になったりしている方は多いのではないのでしょうか？

未来を生きる力を育むために ～大きな耳と優しい目と小さな口～



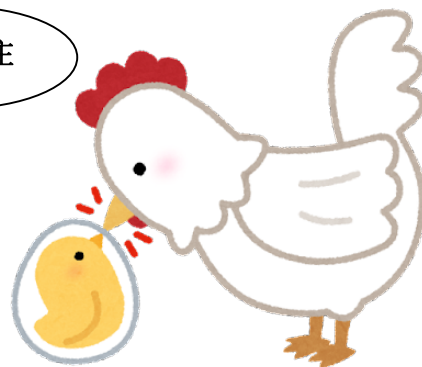
子どもの自立心・向上心を育み、未来を力強く生きる力を養うための向き合い方について、いっしょに考えていきましょう！

【日 時】 6月22日（水）10時～12時**【場 所】** 宮野地域交流センター

大歳在住

【講 師】 宮成 眞澄 氏

（くすの木母親クラブ 会長）

【対 象】 小学生の保護者 30人程度**【持ち物】** 筆記用具**【託 児】** 無料（要申し込み）

申し込み受付 令和4年5月9日（月）～6月 8日（水）

抽選結果のお知らせ 令和4年6月9日（木）～6月15日（水）

子そだてマナビィ

検索

お申し込み

（①または②の方法で、お申し込みください）

①市ウェブサイトのお申し込み用メールフォーム

②電話（☎083-934-2866）

※お申し込み多数の場合は抽選で受講者を決定します。

抽選結果は当落どちらでもご連絡いたします。期間内に結果が届かなければ、お問合せください。

お問合せ先【山口市教育委員会 社会教育課（☎ 083-934-2866）】



家庭教育応援サイト



子そだてマナビィ

さえのかみ(道祖神)

馬庭と河内の集落のはずれから山道を登って、和田の集落に下る峠道があります。この道は「さえのかみ」（さえのかみ）と呼ばれています。「さえのかみ」は集落の境界に祀られ、疫病などの災厄が外部から侵入することを防ぐ神とされています。漢字で「塞の神」「宰の神」（どちらもさいのかみと読む）と表記されることが多いようです。

このため私は「さいのかみ」が正しい呼び名で、「さえのかみ」はそれが訛ったものと思っていたのですが、「庚申信仰」（飯田道夫著）という本によれば、「さえのかみ」が本来の呼び名であるようです。さえのかみの語源ははっきりしませんが、イザナギの命が黄泉から逃げ帰る時、追ってくる黄泉勢に、持っていた杖を投げて難を逃れたとされ、この杖に化成した神をフナドの神と言い、本の名を「来名戸祖神（クナドノサエノカミ）」という日本書紀に書かれており、これに由来するのかもしれませんが、もっとも、そうであれば「くなどのかみ」とされるはずで、語源説としては、あまりに薄弱で、不明とする方がよさそうです。

ともあれ、境界神という性格は塞の神・宰の神という表記に良く表されているため、山口では、享保期の「地下上申絵図」にも天保期の「風土注進案」にも「さえのかみ」は「道祖神」と書かれています。境界神なら、道祖神が一番わかりやすいだろうという親心かもしれませんが、これを「さえのかみ」と読める人はほとんどいないでしょう。

その上昭和27年に建立された道路改修工事を記念する峠の碑にも「道祖神」と刻まれており、文字として表記された「さえのかみ」はなくなってしまっています。

さて、さえのかみ（道祖神）を和田側から歩いてみましょう。国道9号線のホンダ朝田店から北へ曲がり坂道を登っていくと左手にお地蔵様が祭られ、その奥に「吉森様」の碑と灯籠があります。さらに坂道を上ると、右手に「さえのかみ堤」があり、道も平坦になります。堤がきれるあたりで道が左右に分かれ、右手の小道は和田地区の墓地に続き、六地蔵が祭られています。この地点から道は再び坂道になり、峠の頂上には「道祖神」の碑が建っています。坂道を下ると朝田川にぶつかります。この一帯は「神田（じんでん）」と呼ばれており、朝田神社が所有する田地であったことがわかります。「風土注進案」によれば、このあたりに札所があったと書かれています。札所は今という公営掲示板が設置された所で、人の通りが多い所や、支配上、重要な場所に設置されました。おそらく旧朝田神社（五の宮）に到る道であり、さらに本藩領と吉敷毛利領が交錯する地であったために選ばれたのでしょう。

子どもの頃、この道は5時を過ぎると薄暗くなり、学校からの帰りが遅くなると、こわごとと峠の頂上まで登り、ホットして下り始めると、いつも突然、化け物が後ろから追ってくる気がして、怖さが倍加、ものすごい勢いで駆け下ったことを今も鮮明に覚えています。子どもには一人では怖い道でもありました。

（大歳史談会、文責：武波義明）



「さえのかみ」が祀られている付近（写真の中央部）の航空写真（Bing から）



さえのかみ
（道祖神）